中央会ふくい

No.184

Collaborate Fukui 2022.1

年頭所感

中小企業組合及び中小企業・小規模事業者に対する支援の要望書を提出

◉組合TOPICS
企業組合うめっぽ

◉組合紹介
福井魚商協同組合

福井県中小企業団体中央会
https://www.chuokai-fukui.or.jp/

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 | 金沢キャンパス
Be a Great Small. 中小機構
〒920-0031
石川県金沢市広岡 3-1-1 金沢パークビル
TEL 076-223-5573

2022年冬・春期 研修コース一覧

	コースNo.	研修名	日数	実施期間	対象者	受講料
2021年度	011	**決算書の読み方講座２** ※昨年9月開催から日程変更	3日間	03/09(水)～11(金)	管理者、新任管理者	32,000円
		「決算書のどこを見ればいいのかよく分からない」という管理者の方、また経営者層でも改めて学び直したい方にぜひお勧めです！実際の企業活動に活かせる決算書講座として、例年好評につき今年２回目の開催です。（※No006「決算書の読み方講座１」(2021/7/6～８実施)と同内容）				(講師:安田 勝也)
2022年度	001	**新任管理者研修**	3日間	04/19(火)～21(木)	新任管理者	29,000円
		管理者・チームリーダーになりたての方必見！部下に"教える"から"育てる"へ意識を切り替え、チームと仕事を動かす人材となるために、リーダーシップやマネジメントの基本を学びます。自身にあったリーダーシップのスタイルを把握し、その発揮に向けたアクションプランの策定に取り組みます。				(講師:原 裕二)
	002	**コーチングの考え方・取り組み方**	2日間	05/17(火)～18(水)	管理者、新任管理者	22,000円
		例年人気の当講座を2022年も開催いたします！アスリートのメンタルコーチとしても著名な飯山講師のもと、部下指導の基本的な考え方と、部下のやる気を引き出すコーチングを、演習を交えて学びましょう！				(講師:飯山 晄朗)
	003	**Webマーケティング講座**	2日間	05/26(木)～27(金)	経営幹部、管理者	22,000円
		多くの会社が営業ツールとして導入しているHPやSNSですが、売上げにつなげるには工夫が必要です。当講座でマーケティングの基本の考え方や、各種SNSツールの特徴とその効果的な運用方法を学び、自社の目的に見合ったツールが何か、どう運用して「売れる仕組み」づくりに結び付けるか、改めて考えてみましょう。				(講師:今井 進太郎)

※1)各カリキュラムの詳細、およびお申込みについては、当校のHPをご覧ください。2022年度研修については、2月以降にHP掲載予定です。
※2)研修コース名、開催日程(研修日数・時間を含む)及び受講料は、変更になる場合がございます。HPよりお申込みの際は、コースNoをご確認ください。

金沢キャンパスHP▶ 紹介ムービー▶
中小機構 金沢キャンパス 検索 CLICK!

contents

Collaborate Fukui No.184

1 年頭所感
7 第73回中小企業団体全国大会が開催されました
8 令和3年秋の叙勲　受章者
9 杉本知事に要望書を提出
10 ふくい青年中央会　活動紹介
11 福井県商店街振興組合連合会
●商店街の魅力、再発見！　●SNS活用講座を開催
12 リアルジョブふくい･ミドル世代のための合同企業説明会を開催
13 福井県保険代理業協同組合が官公需適格組合証明を取得
職員コラム
14 組合TOPICS　●企業組合うめっぽ
中央会事業活用事例のご紹介
15 組合紹介　●福井魚商協同組合

新年のごあいさつ

福井県中小企業団体中央会
会長　稲　山　幹　夫

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎えるに当たり、本会の会員組合の皆様、関係団体の皆様をはじめ、県内中小企業・小規模事業者の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化したほか、終盤には経済回復の兆しが見えつつある中での原油・資材の価格上昇など、企業経営にさまざまな影響があった1年でありました。

本年は、ウィズコロナの時代として、中小企業組合等への支援を通じ、コロナ禍の長期的な影響で疲弊している中小企業・小規模事業者が元気に回復し、新たな成長を果たせる年となるよう努めてまいります。

特に、中小企業・小規模事業者の新たな事業構築には小さなチャレンジの積重ねが不可欠であり、県等には小規模な設備投資への支援などを求めてまいります。また、本県にとって新たなビジネス創出の絶好の機会となる北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、福井駅西口の再開発をはじめ商店街や共同店舗の空き店舗対策、消費喚起策など、行政とともに交流人口の拡大を目指してまいります。

さらに、中小企業・小規模事業経営者の高齢化が進む中、事業承継への対応は待ったなしの状況ですし、労働力の不足やひっ迫感も生じてきている昨今、人材の確保・育成にも積極的に取り組んでまいります。

この2年間で生活様式や働き方は一変しましたが、これらの課題に適確に対応し、中小企業・小規模事業者が事業継続と持続的な成長を果せるよう、県、全国中央会をはじめ関係各機関との連携を一層強化しながら取り組んでまいりますので、皆様の更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、より良い年となりますことを心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

福井県知事
杉　本　達　治

福井県中小企業団体中央会のみなさま、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、3度にわたる県独自の緊急事態宣言の発令など、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、早期発見・早期治療を重視した「福井モデル」の対策に全力で取り組み、危機を乗り越えてきました。県民のみなさまのご協力に深く感謝申し上げます。引き続き、感染拡大防止の徹底と経済再生との両立に取り組んでまいります。

一方、コロナ禍で東京一極集中のリスクが顕在化したことにより、地方への関心が高まるなどのチャンスが広がっています。本県におきましては、令和4年度中の中部縦貫自動車道和泉IC（仮称）までの開通や、2年後に迫った北陸新幹線福井・敦賀開業など、リスクに強い分散型国家の基盤となる、高速交通網の整備が進みます。

新しい年は、長期ビジョンに描く「飛躍するふくい」に向け、百年に一度のまちづくりを加速させるとともに、観光地の魅力向上や攻めの移住定住の促進、新産業の創出や起業家の育成、未来につなぐ農林水産業の実現、くらしの質を高めるDXなどを積極的に推進してまいります。

昨年開設した「ふくいDXオープンラボ」を拠点として県内企業のデジタル化を推進するほか、「量から質」に転換した新たな補助制度を活用し、高付加価値企業を誘致するなど、地域経済の活性化に努めてまいります。また、首都圏における知名度向上、観光・移住促進の拠点となるアンテナショップを移転拡充し、福井のキラーコンテンツである恐竜博物館、豊富な福井の食など、「福井ブランド」を強く発信してまいります。

さらに、福井らしい男女共同参画や社会全体での子育て応援、新たな時代を見据えた教育環境の整備、地域医療・介護・福祉の充実、県土の強靭化など、すべての人が幸せ・安心を実感できるウェルビーイングな社会を実現してまいります。

原子力・エネルギー政策は、国が確固たる道筋を示し、責任ある政策を実行するよう強く求めるとともに、県民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。また、スマートタウンの形成など、立地地域の将来像を描くとともに、カーボーンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーを含む多様なエネルギーの活用により、持続可能な地域の発展につなげてまいります。

新年を迎え、福井県に対してますますのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年 頭 所 感

近畿経済産業局長
伊 吹 英 明

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の関西経済は、コロナ禍の影響から大きな動きのある1年となりました。生産は、下半期にかけて海外からの部品供給の制約等の影響により足踏み状態となりましたが、設備投資は緩やかな増加傾向の動きがありました。一方、個人消費は依然厳しい状況ですが、一部持ち直しの動きもありました。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の再拡大にも注視しつつ、今後、脱炭素社会やデジタル社会に向け活発な動きが生まれてくることが期待されます。

本年は、2025年大阪・関西万博への出展・参加に向けた活動も始まり、大きく舵を切り動き始める1年となります。

近畿経済産業局では、これらを踏まえ以下3つのキーワードのもと、昨年11月に策定された経済対策も含め、政策を推進して参ります。

一つ目は、「中堅・中小企業の支援」です。

関西には、優れた中堅・中小企業が数多く存在しますが、コロナ禍の長期化によって経済情勢が大きく変化しています。この大きな変化の中で事業価値の向上と発展に向けて中堅・中小企業が取り組む事業再構築や事業承継を支援いたします。また、商店街をはじめ地域が社会経済活動再開に向けて行う地域活性化の取組を支援いたします。

当局では、管内の金融機関、関係省庁と連携し、事業再構築補助金をはじめとする中小企業支援施策の普及促進に取り組んでいます。本年も引き続き関係機関と連携し、より一層の支援を推し進めて参ります。

二つ目は、「中長期的な成長基盤の構築」です。

コロナ禍の事業環境の変化への適応と新しいビジネスや価値創出の取組を支援して参ります。

まず、地域の中堅・中小企業が、デジタル社会の実現に向け、デジタル技術を活用しユーザー視点の新たな価値を提供できるよう取り組みます。当局は、ベンダー企業や支援機関等と連携する「関西DX推進プラットフォーム」を通じて、ユーザー企業のDXを推進し、デジタル人材の確保やノウハウの習得を支援いたします。また、中小製造業の現場におけるロボット、IoT、AI等の導入を支える仕組みを構築し、企業の生産性向上に向けて力を尽くします。

次に、新しい社会「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指し、蓄電池や水素を活用したグリーン成長の加速や循環経済への取組を支援して参ります。水素サプライチェーンの構築等に向け、各種セミナーやビジネスマッチングにより、水素関連産業の技術開発の加速化や新規参入を促進いたします。さらに、循環経済の実

現に向けて、廃棄物や再生可能資源の活用に取り組む企業の事業支援をいたします。

また、イノベーション創出のために、関西のベンチャー企業と支援機関等の情報を全国に発信し、起業家・投資家等を関西に惹きつけ、ベンチャーエコシステムの更なる強化を目指します。健康の価値が再認識される中、関西の強みであるライフサイエンス産業を活かし国際競争力の向上を後押ししていきます。さらに、「関西・共創の森」の取組や「関西イノベーションイニシアティブ」等との連携により、産学官金の多様な主体によるオープンイノベーションの取組を支援して参ります。

三つ目は「万博開催のパワーを地域のパワーにつなげる万博活用戦略」です。

2025年に開催される大阪・関西万博は、またとない経済躍進のチャンスです。このチャンスを活かすために、当局では関西全体をパビリオンと見立てて、万博会場のみならず万博の機会活用に向けた会場外の様々な活動を全力で支援いたします。昨年作成した関西における実証実験など注目すべき活動を紹介する「360° EXPO拡張マップ」を内容拡充しながら、PRしてまいります。

また、万博開催を機に国内外での知名度向上、市場開拓やインバウンド獲得等を狙う地域ブランドの取組を、関係機関と連携して集中的に支援します。地域ブランドを取り巻く個々の課題について丁寧に解決に導く伴走型支援を行い、関西全体がブランドとなる社会を目指します。

以上、申し上げた3つのキーワードを元に、2025年大阪・関西万博を見据えて、関西経済の成長に向けて当局職員が一丸となって取り組んで参ります。

結びに経済産業行政への御理解と御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会
会長　森　　洋

明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長として再任頂き、11月には本会創立65周年記念式典を開催することができました。これもひとえに会員皆様方の日頃のご支援やご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて実に苦しい1年でした。世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、対面サービス業を中心に深刻な影響を被りました。ワクチン接種の進展等により感染者数は減少したものの、依然予断を許さない状況が続いています。岸田新政権が昨年11月に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実効に期待を寄せているところです。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月25日に神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールにて開催した第73回中小企業団体全国大会では、萩生田経済産業大臣等多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約1,700名が参集し、

Ⅰ．中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充
Ⅱ．中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
Ⅲ．中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

大会後の「感謝の夕べ」にご臨席賜りました岸田内閣総理大臣からは、ものづくり補助金の中央会の事務局としての活動と生産性向上の具体的な事例に言及され、謝意を頂き、中小・小規模事業者の発展を支援する中央会への期待が表明されました。この岸田内閣総理大臣の中小・小規模事業者への期待や支援に応えるためにも、組合組織が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、中小・小規模事業者が誰一人取り残されることのないよう全力で取り組んで参ります。

とりわけ、ポストコロナを見据えた新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化・グリーン化への起動、事業再構築・生産性向上、災害対策、事業承継、事業再生などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、一刻も早く安心して事業活動を行う環境が整いますとともにコロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦

新年のごあいさつ

株式会社　商工組合中央金庫
福井支店長　鈴　木　幸　次

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、福井県中小企業団体中央会、並びに会員の皆さまから頂戴したご支援、ご愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染再拡大による消費の低迷や半導体不足、原油高による原材料価格の上昇など中小企業を取り巻く経営環境は大変厳しい1年になりました。一方、コロナウイルスを発端とした「ニューノーマル」としてテレワークをはじめオンライン商談会や会議が定着し、商取引においてもECが一段と普及するなど働き方やビジネスモデルが大きく変化しました。ワクチン接種の広がりとともに国内経済活動の再開は徐々に進んでいる状況でありますが、そうした中で人手不足を感じている企業も多く、労働需給の逼迫による人件費負担の増加懸念も高まっています。また気候変動リスクや社会のデジタル化への対応等、今後中小企業を取り巻く経営環境はかつてないほど大きく変化し、経営ニーズは一段と高度化、多様化することが考えられます。

このような中、商工中金は危機対応業務等を通じたセーフティーネット機能の発揮に万全を尽くすとともに、中小企業組合ならびに中小企業の皆さまに寄り添い、深い対話を通じて課題やニーズを共有することで本業に役立つソリューションの提供を行ってまいります。具体的には、アフターコロナを見据えた財務構造の改革、経営改善、事業再生、新規事業への挑戦、あるいは業務のデジタル化などに取組む中小企業の皆さまに対する支援に重点的に取り組んでまいります。そのためにも、日頃からリレーションを一層強化するとともに、中央会様をはじめ、地方公共団体、地域金融機関、外部専門機関等の各機関との連携・協業を密にしながら、当金庫の特性を活かし、「経営支援総合金融サービス事業」を実践するべく体制の整備と高度化を図ってまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

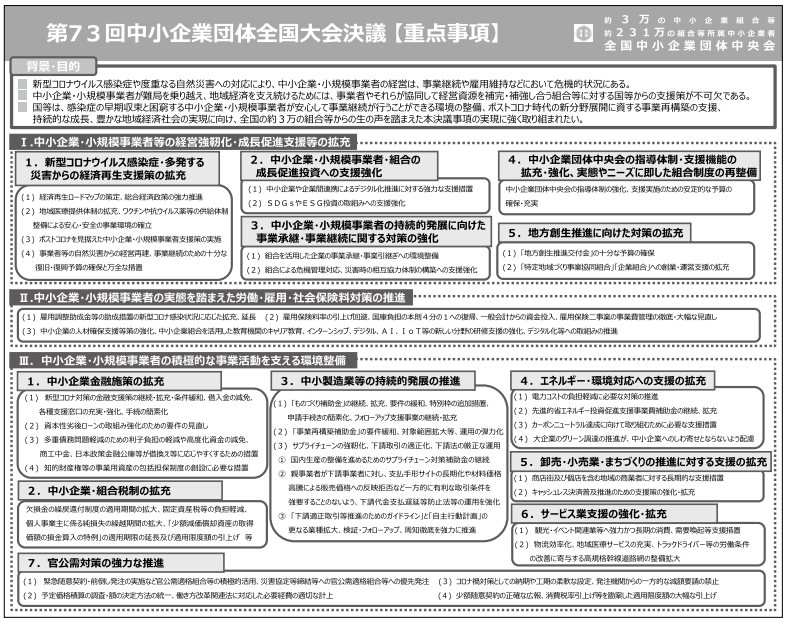
年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

第73回中小企業団体全国大会が開催されました

11月25日、「パシフィコ横浜国立大ホール」（横浜市）において、「第73回中小企業団体全国大会」が開催されました。萩生田光一・経済産業大臣、武部新・農林水産副大臣、黒岩祐治・神奈川県知事、山中竹春・横浜市長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長等のご臨席の下、全国から中小企業団体の代表者約1,700名が参集しました。

本大会は、坂倉徹・神奈川県中小企業団体中央会副会長が議長に、平栄三・千葉県中小企業団体中央会会長、石丸忠重・長崎県中小企業団体中央会会長がそれぞれ副議長に選任されて議事が進行し、中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備など21項目が決議されました。

また、布川徹・徳島県中小企業団体中央会会長が「実感ある景気回復と地域を支える中小企業の持続的発展に向けた活力強化」と題して意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、碇谷友貴・神奈川県中小企業青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。



第73回中小企業団体全国大会決議【重点事項】

約3万の中小企業組合等
約231万の組合等所属中小企業者
全国中小企業団体中央会

背景・目的

- 新型コロナウイルス感染症や度重なる自然災害への対応により、中小企業・小規模事業者の経営は、事業継続や雇用維持などにおいて危機的状況にある。
- 中小企業・小規模事業者が難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、事業者やそれらが協同して経営資源を補完・補強し合う組合等に対する国等からの支援策が不可欠である。
- 国等は、感染症の早期収束と困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業継続が行うことができる環境の整備、ポストコロナ時代の新分野展開に資する事業再構築の支援、持続的な成長、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国の約３万の組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現に強く取り組まれたい。

Ⅰ.中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充

1．新型コロナウイルス感染症・多発する災害からの経済再生支援策の拡充
（1）経済再生ロードマップの策定、総合経済政策の強力推進
（2）地域医療提供体制の拡充、ワクチン・抗ウイルス薬等の供給体制整備による安心・安全の事業環境の確立
（3）ポストコロナを見据えた中小企業・小規模事業者支援策の実施
（4）事業者等の自然災害からの経営再建、事業継続のための十分な復旧・復興予算の確保と万全な措置

2．中小企業・小規模事業者・組合の成長促進投資への支援強化
（1）中小企業や企業間連携によるデジタル化推進に対する強力な支援措置
（2）ＳＤＧｓやＥＳＧ投資の取組みへの支援強化

3．中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた事業承継・事業継続に関する対策の強化
（1）組合を活用した企業の事業承継・事業引継ぎへの環境整備
（2）組合による危機管理対応、災害時の相互協力体制の構築への支援強化

4．中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の拡充・強化、実態やニーズに即した組合制度の再整備
中小企業団体中央会の指導体制の強化、支援実施のための安定的な予算の確保・充実

5．地方創生推進に向けた対策の拡充
（1）「地方創生推進交付金」の十分な予算の確保
（2）「特定地域づくり事業協同組合」「企業組合」への創業・運営支援の拡充

Ⅱ.中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
（1）雇用調整助成金等の助成措置の新型コロナ感染状況に応じた拡充、延長　（2）雇用保険料率の引上げ回避、国庫負担の本則４分の１への復帰、一般会計からの資金投入、雇用保険二事業の事業費使途の徹底・大幅な見直し
（3）中小企業の人材確保支援等策の強化、中小企業組合を活用した教育機関のキャリア教育、インターンシップ、デジタル、ＡＩ、ＩｏＴ等の新しい分野の研修支援の強化、デジタル化等への取組みの推進

Ⅲ．中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1．中小企業金融施策の拡充
（1）新型コロナ対策の金融支援策の継続・拡充・条件緩和、借入金の減免、各種支援窓口の充実・強化、手続の簡素化
（2）資本性劣後ローンの取組み強化のための要件の見直し
（3）多重債務問題軽減のための利子負担の軽減や高度化資金の減免、商工中金、日本政策金融公庫等が借換え等に応じやすくするための措置
（4）知的財産権等の事業用資産の包括担保制度の創設に必要な措置

2．中小企業・組合税制の拡充
欠損金の繰戻還付制度の適用期間の拡大、固定資産税等の負担軽減、個人事業主に係る純損失の繰越期間の拡大、「少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例」の適用期限の延長及び適用限度額の引上げ　等

3．中小製造業等の持続的発展の推進
（1）「ものづくり補助金」の継続、拡充、要件の緩和、特別枠の追加措置、申請手続の簡素化、フォローアップ支援事業の継続・拡充
（2）「事業再構築補助金」の要件緩和、対象範囲拡大等、運用の弾力化
（3）サプライチェーンの強靭化、下請取引の適正化、下請法の厳正な運用
①　国内生産の整備を進めるためのサプライチェーン対策補助金の継続
②　親事業者が下請事業者に対し、支払手形サイトの長期化や材料価格高騰による販売価格への反映拒否など一方的に有利な取引条件を強要することのないよう、下請代金支払遅延等防止法等の運用を強化
③「下請適正取引等推進のためのガイドライン」と「自主行動計画」の更なる業種拡大、検証・フォローアップ、周知徹底を強力に推進

4．エネルギー・環境対応への支援の拡充
（1）電力コストの負担軽減に必要な対策の推進
（2）先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金の継続、拡充
（3）カーボンニュートラル達成に向けて取り組むために必要な支援措置
（4）大企業のグリーン調達の推進が、中小企業へのしわ寄せとならないよう配慮

5．卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
（1）商店街及び個店を含む地域の商業者に対する長期的な支援措置
（2）キャッシュレス決済普及推進のための支援策の強化・拡充

6．サービス業支援の強化・拡充
（1）観光・イベント関連業等へ強力かつ長期の消費、需要喚起等支援措置
（2）物流効率化、地域医療サービスの充実、トラックドライバー等の労働条件の改善に寄与する高規格幹線道路網の整備拡大

7．官公需対策の強力な推進
（1）緊急随意契約・前倒し発注の実施など官公需適格組合等の積極的活用、災害設定等柔軟等への官公需適格組合等への優先発注　（3）コロナ禍対策としての納期や工期の柔軟な設定、発注機関からの一方的な減額要請の禁止
（2）予定価格積算の調査・額の決定方法の統一、働き方改革関連法に対応した必要経費の適切な計上　（4）少額随意契約の正確な広報、消費税率引上げ等を勘案した適用限度額の大幅な引上げ

詳しくは、全国中小企業団体中央会webページをご覧ください。

https://www.chuokai.or.jp/hotinfo/73zenkokutaikai211125.html

続いて開催された表彰式では、【優良組合】福井県商店街振興組合連合会（野尻章博理事長）、【組合功労者】岩下春幸氏（福井県鉄工業協同組合連合会　理事長）、【中央会優秀専従者】勝木孝郎課長代理が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

受賞おめでとうございます

（敬称略）

優良組合

福井県商店街振興組合連合会
（理事長　野 尻 章 博）

組合功労者

岩 下 春 幸
(福井県鉄工業協同組合連合会 理事長)

中央会優秀専従者

勝 木 孝 郎
（事業推進課 課長代理）

おめでとうございます

令和３年 秋の叙勲

業界における永年の優れたご功績によって、この秋の叙勲を受章された本会関係者をご紹介いたします。
栄えある受章を心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご隆盛をご祈念申し上げます。

（順不同・敬称略）

旭日双光章
（中小企業振興功労）

福井県機械工業協同組合

理事長 岩 下 春 幸

旭日双光章
（中小企業振興功労）

福井県中小企業団体中央会理事
（福井県瓦工業協同組合）

理事長 新 谷 孝 雄

中央会の要望活動

杉本知事に要望書を提出しました

本会の稲山幹夫会長、野尻章博副会長、岩下春幸副会長および江端誠一郎専務理事が12月13日(月)、杉本達治福井県知事に「中小企業組合及び中小企業・小規模事業者に対する支援の要望書」を提出しました。

新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しが見えつつあり、県内の中小企業組合においても経済活動は回復傾向にある一方、原油高や資材の価格上昇、世界的な需給ひっ迫による半導体等の部品供給の遅れなど、その影響が分野を問わずに拡大しています。先日、会員組合様にご協力いただいた「原油、原材料及び資材価格上昇に伴う影響調査」でのご意見や巡回時のヒアリング内容を集約し、要望書にまとめました。

また、2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業や2026年春の中部縦貫自動車道県内区間全線開通等は、本県経済にとってまたとない機会であり、交流人口の増大に向けたまちづくりや観光面での対応が喫緊の課題となっている中、こうした状況を踏まえ、県下中小企業組合及び組合を構成する中小企業・小規模事業者が事業継続と持続的な成長を果たせる環境を整備すべく、以下5項目の要望を行いました。

要望事項

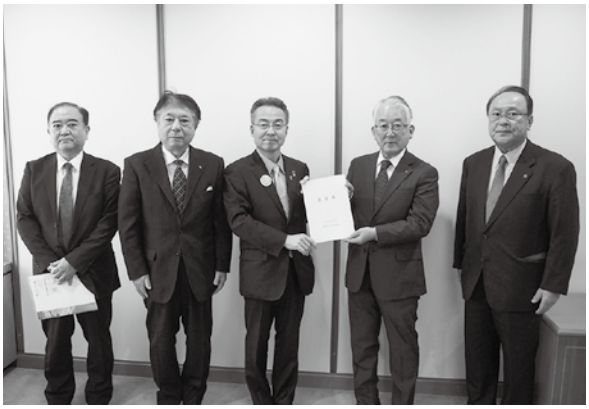
1．昨今の原油高等の影響を受ける中小企業・小規模事業者に対する影響緩和のための支援

2．新たな設備投資助成制度の創設とものづくり補助金制度の継続・拡充

3．中小企業等における「SDGs」、「DX」などの新たな投資への支援強化

4．新幹線開業等を睨んだ商店街等の空き店舗対策の実施、消費喚起策の強化

5．中小企業・小規模事業者の人材確保等への支援強化



▲左から江端専務理事、野尻副会長、杉本知事、稲山会長、岩下副会長

ふくい青年中央会　活動紹介

～創立45周年記念式典を開催～

ふくい青年中央会は、県下最大の異業種交流組織として、業種を越えた情報交換、ビジネスマッチングなど次世代後継者支援に取り組んできました。本年度で創立45周年を迎える節目にあたり、次代を担う青年経営者が一堂に会し、連携体としての青年部活動の意義を再認識や更なる飛躍の礎を築く機会として12月10日（金）、八雲迎賓館において「福井県中小企業団体青年中央会　創立45周年記念式典」を開催しました。

式典には、県産業労働部伊万里副部長や本会稲山会長、歴代青年中央会会長にご臨席いただき、青年部メンバー約50名が出席しました。

また、優良組合青年部表彰および歴代会長感謝状贈呈を執り行い、表彰後には中山青年中央会会長から本会稲山会長へ記念品（年表巻物）が手渡されました。

優良組合青年部表彰

福井県電気工事
工業組合青年部

福井県インテリア事業
協同組合青年部

歴代会長感謝状贈呈

第18代会長
永善　友之　氏

第19代会長
岩本　成人　氏

式典後は、「ふくい UBA の上手な活用方法」をテーマに、パネルディスカッションを行い、パネリストとして第14代会長 海道 映諄 氏と第15代会長 寺本 光宏 氏にご登壇いただきました。また、長年青年中央会に携わってきた本会 総務企画課 課長 芹澤 利幸がコーディネーターとして登壇しました。

▲越前和紙で製作された記念品（年表巻物）の説明をする理事たち

▲パネルディスカッションの様子

福井県商店街振興組合連合会

～商店街の魅力、再発見！～

福井県内にはコロナ禍でも頑張っている商店街がたくさんあります！商店街振興組合連合会事務局が商店街を回って見つけたお店をご紹介します。

「女性の力を活かして活性化を目指す敦賀市本町二丁目商店街」

敦賀市本町二丁目商店街は、敦賀市のシンボルロードである国道8号に隣接し、店舗だけでなく事務所や住宅が混在した商店街です。県内商店街では初の婦人会「おかみさん会」を設立し、女性の意見を取り入れて商店街活性化を目指しています。電灯のLED化、プランターの整備など、商店街の景観づくりにも注力しています。

額縁で作品を彩る！作品に合わせたコーディネートができる額縁屋さん

シンドウ　敦賀市本町2丁目9-18
営業時間 9:00～19:00（定休日:日曜･祝日）

昭和15年創業の額縁専門店。額縁の製造・販売を中心に絵具・絵画材料の販売、初心者向け水彩画教室を開催しています。また、ガラスサッシ工事など幅広く事業を展開しています。当店では、お客様からのご相談を受け、作品を引き立たせる額縁をご提案しています。大切な作品・大切な思い出を額縁に入れて飾ってみませんか。

店主がバンドマン！皆様の音楽活動を応援する楽器屋さん

オーディオ渡辺　敦賀市本町２丁目11-4
営業時間 10:00～18:00（年中無休:GW､お盆､年末年始はお休み）
e-mail:shop@audio-watanabe.com

商店街の店舗だけでなく、ネットでも楽器を販売している楽器専門店。楽器の販売以外にも修理、買取、レンタル、中古レコード販売、音響の設置、スタジオの貸し出しなど、皆様の音楽活動をトータルサポートしています。ここにしかない楽器もあるかもしれません。ぜひ一度当店へお越しください。

【県振連主催】SNS活用講座を開催しました

12月16日（木）、福井市地域交流プラザ（AOSSA6階）にて福井県商店街振興組合連合会主催「小さな会社やお店のSNS徹底活用講座」を開催しました。

コロナ禍で加速したオンラインシフトの流れは今後も続くことが予想されます。そのため、地方の小さな会社やお店でも新規客獲得、商品やサービスの認知度向上、来店や問い合わせの促進、そしてブランディングにSNSの活用が必要となってきます。そこで、当講座ではSNS実践活用歴18年の講師・酒井とし夫氏（ファーストアドバンテージ有限会社　代表取締役）に、小さな会社やお店がSNSを使って売上アップ、集客、ブランディングを図るためにはどうすればよいか絶対に外せないポイントを初心者向けに分かりやすく解説していただきました。YouTube、ツイッター、インスタグラム、LINE、フェイスブック、アメブロ等でのフォロワーの増やし方や難しいとされている見込み客の探し方など様々なテクニックを伝授していただきました。

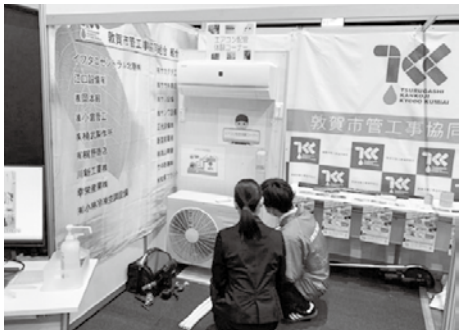
受講後、「インスタやYouTubeは難しそう」などのSNSへの抵抗が払拭され、さっそく取り組みたいと意気込む参加者もいらっしゃいました。

令和3年度近畿経済産業局における
地域中小企業･小規模事業者の人材確保支援等事業

～業界体感型就活イベント　リアルジョブふくい・ミドル世代のための合同企業説明会を開催～

県内の業界、企業のリアルを体感できる就活イベント「リアルジョブふくい」を11月6日、ハピリンホールにて開催しました。本イベントは2023年春以降卒業予定学生向けの業界研究会と、来春卒業予定学生、及び一般求職者を対象にした合同企業説明会の2部構成。経済産業省近畿経済産業局が主催、福井県中小企業団体中央会が実施団体として実施しました。出展企業15社（うち、本会会員組合 組合員企業10社）のほか、業界5団体【県ニット（工）、県屋根工事（協）、県ブロック（協）、敦賀市管工事（協）、鯖江の眼鏡産業チーム】による仕事体感コーナーを設け、参加者はユニホームのデザインや、眼鏡の組み立て、水道蛇口の交換など、様々な仕事を体験し、企業・業界の魅力に触れていました。

▲企業説明を受ける参加者の様子



▲仕事体感コーナーの様子

同様に、「ミドル世代のための合同企業説明会」を12月4日、県繊協ビルにて開催しました。本説明会は、県内でも珍しい、就職氷河期世代（概ね35歳～51歳）を対象とした説明会であり、県内企業10社（うち、本会会員組合 組合員企業5社）が出展しました。参加者からは「自分では発見できない企業と出会うことが出来た」という声が聞かれました。

▲企業説明を受ける参加者の様子

▲企業説明を受ける参加者の様子

中央会では、会員組合・組合員企業を中心とした中小企業向けの人材確保支援（合同企業説明会の開催等）を行っております。

人手不足に悩んでいる、就活イベントに出展したいなどございましたら、お気軽に本会 連携支援課（0776-23-3042）までご相談ください!

福井県保険代理業協同組合が官公需適格組合証明を取得

当会会員の福井県保険代理業協同組合が、令和3年12月10日に官公需適格組合証明を取得されました。官公需適格組合制度は、共同受注事業を行っている中小企業組合のなかでも、国や自治体など公共の仕事を受注するための体制と受注した仕事を完遂する能力が十分に備わっていると認められる組合に対して、中小企業庁(福井県においては近畿経済産業局)がその旨の証明を付すものです。

福井県保険代理業協同組合は、従来から損害保険等の共同受注を行っておりますが、自治体や関係機関のみなさまに、地元の保険代理店ならではの合理性や安全性等をより深くご理解いただくこと、また、今後さらにご活用いただくことを目指して約２年前から官公需適格組合証明の勉強会を開くなど申請の準備に取り組み、この度念願の証明取得となりました。保険代理業では全国初の証明取得(本会調べ)であり、佐竹理事長をはじめ組合の皆様は、この証明を積極的に活用して共同受注事業の営業活動に励んでいきたいと意気込んでいらっしゃいました。

当会では、官公需適格組合証明の取得に関するご相談を随時受け付けております。ご関心を持たれた組合さまは、連携支援課までお気軽にご相談ください。

江端専務理事（中央会）と佐竹理事長▶

第４回

職員コラム

「我が家の年末恒例行事」

第4回目の職員コラムは事業推進課の井上が担当させていただきます。新年号に載るなんて光栄ですので、新年にちなんだコラムをお送りします。

◇恒例行事その１：クリスマスより早い門松作り

雪が降る前の晴れた休日は限られています。毎年、父と一緒に作っている門松は10年目を迎え、先月ものこぎり片手に近くの竹林へ行ってきました。豪雪の影響か真っ直ぐな竹は奥の方へ行かないと見つけられませんでしたが、今回も無事に完成！年々クオリティが上がっているような？クリスマスより早く飾られた門松は配達員の皆さんもビックリでしょうね(笑)

◇恒例行事その２：かまどせいろは年代物を使用

昔は臼と杵を使って餅をついてましたが、今では「もちっ子」という機械に頼りっぱなしです。かまどからの煙に涙しながらもち米を蒸し上げて行きますが、この時にしか食べないのが蒸したての“おこわ”と、つきたての“おろし餅”です。ついつい食べ過ぎてしまい、フライング気味に正月太りがスタートする年末を過ごし、無事に新年を迎えられたことに感謝です。

本会の取引力強化推進事業により
リーフレットの作成を行った組合をご紹介します！

企業組合うめっぽ

企業組合うめっぽでは、廃業した梅園を共同梅園として組合で管理し、そこで収穫した梅を使って梅干しや梅ゼリー、ジャムなどの加工品を生産、販売しています。法人化と同時に加工場の一角に直売所を設置し、売上は年々増加していましたが、令和2年度は新型コロナに伴うイベントの中止や委託販売先の客数減により、売上が大幅に減少しました。こうした状況の中、2024年の北陸新幹線福井・敦賀開業やウィズ/アフターコロナ時代を見据え、工場兼店舗の改装を行い、梅干し漬け込み作業や梅ジュース作りなどの体験ツアー、視察受入れに対応可能な施設整備および体制づくりに取り組む予定です。そこで課題となったのが、好立地にある組合の工場兼店舗の認知度が低く、県外客などの通行客の来店率向上にどうつなげるかということでした。こうしたことから、主要観光施設に設置できるツールの必要性が高まり、リーフレット作成事業に取り組むこととなりました。

作成したリーフレットには、店舗概要やアクセス地図のほかに、農業の未来をつくる女性活躍経営体100選への選出やエコファーマー認定のPR、商品紹介なども掲載しました。

視察者や来店客へ組合の事業紹介ができるツールとしても活用できるものに仕上がりました。

中央会事業活用事例
中央会事業を活用して講習会を実施！

「組合活力向上事業」を活用してお店のPR講座を開催！
あわら市ゆ～i夢カード協同組合

当組合はポイントカード事業を行っており、来年度のポイントシステム導入に向けてSNSなどスマホの機能を活用したお店のPR講座を実施しました。近年、InstagramやGoogleマップでのお店探しが主流になってきていることや、お客様にアプリのダウンロードを勧める際に操作方法を説明できるよう、各組合員が理解している必要があるということで実施に至りました。

第1回目は、高齢者の多い組合員のために、スマホの操作方法やアプリのダウンロードについてなど初心者向けの内容となりました。第2回目は、Googleマップでの店舗紹介方法やLINE公式アカウントの活用について講師にご説明いただき、集客アップのコツや活用できる様々な機能をご紹介いただきました。

＼参加者の声／

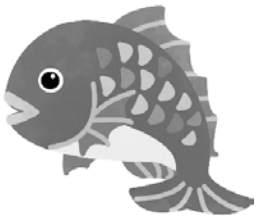
- QRコードを読み取る際の対処法が参考になった。
- Googleマップの投稿の仕方や活用法が参考になった。

福井魚商協同組合

組合概要	
◇代表理事：小林　輝美	◇設　立：1949年12月
◇組合員数：133	◇所在地：福井市高柳町1丁目2201番地

◆組合について

昭和24年12月に設立された当組合は、魚介類販売業又は飲食店仕出し業の店舗を有する事業者で組織され、食の安心・安全の供給、秩序ある市場と適正な取引の推進に努めています。地産地消、魚のさばける人の育成などの取り組みや消費者の食生活の変化により厳しい状況が続いている中での消費者ニーズの多様化に対応した取組みを展開しています。



◆組合の取組み

当組合では、魚食普及事業として県内の小中学校、高校で魚料理講習会を実施しています。家庭では魚を調理する機会が減少し、食卓に魚料理が並ぶことも少なくなってきており、魚食離れが進んでいますが、生徒たちに魚のおいしさやさばき方、調理方法などを伝え、鮮魚店の魚をもっと身近に感じてほしいといった思いがあり、当取組みを行っています。

▲県内の小学校で実施した講習会の様子の様子

県の事業の一環で行う調理実習では、県産のサバやアジをはじめ、ブランド魚を使用することもあり、組合は県産ブランド魚のPRにも一役買っています。今年は、福井農林高校で「敦賀真鯛」を使った調理実習を行い、青年部10名が講師となり、生徒1人1人に魚のさばき方を指導しました。生徒からは「家でもつくってみたい。」「家族や友人にも広めたい。」などの嬉しい感想が寄せられました。

また、毎年、敬老の日が近づくと高齢者施設を訪れ、新鮮な魚の刺身や煮付けを振る舞うボランティア活動も実施してます。当組合では、今後もこうした講習会やボランティア活動を継続し、将来の水産物消費者である生徒たちをはじめ、地域の人々への魚食普及に注力していきたいとしています。また、組合員の高齢化による跡継ぎ問題などの課題を抱える中、若い担い手の増加につなげたいとしています。

『災害』への備えは十分ですか？

地震危険補償特約で万が一に備えましょう！

福井県火災共済協同組合

理事長　白﨑　誠一

〒910-0854
福井市御幸1丁目1-1（FM会館2階）
TEL 0776-22-6000　FAX 0776-22-7471
URL：https://ken-kyosai.jp

人材の確保と企業の保全のために

中央会の

特定退職金共済制度

●特　色

1 事業主が負担する掛金は加入従業員１人あたり月額30,000円まで損金計上可能（所得税法施行令第64条・法人税法施行令第135条）
2021年4月現在の税制に基づいた記載です。今後税制改正が行われた場合には記載の内容と相違する場合があります。

2 掛金納入月数60月以上の従業員が死亡以外の事由により退職した場合、年金による受取が可能

※詳しくは、福井県中小企業団体中央会の退職金共済規程および特定退職金共済制度パンフレットを必ずご覧ください。

資料の請求とお問い合わせ

福井県中小企業団体中央会 ☎(0776)23-3042
福井市大手3丁目12-20 冨田第一生命ビル3階

引受保険会社　大樹生命保険株式会社

大樹－KB－2021－167

印　章・ゴム印・名　刺・ハガキ

江川堂印房(株)

福井市NHK前　TEL(0776)22-4279・27-3656・FAX26-1150

BESTパートナー
大樹生命
日本生命グループ
つなぐ～信頼を拡げ、未来を拓く～

よりそう保険。
大樹 Taiju Select セレクト
無配当保障セレクト保険
あなたにぴったりな保障を自由にセレクト!

大樹生命保険株式会社　福井支社
〒910-0005 福井県福井市大手3-14-9 商工中金・E.S福井ビル　TEL:0776-24-1124
https://www.taiju-life.co.jp/

美浜原子力ＰＲセンター

海と緑と空、美しい自然に囲まれた「美浜原子力PRセンター」では、原子力の知識を楽しく学ぶことができます。

25分の１発電所模型や原子炉内部を実物大の模型と映像でリアルに再現した体験シアター、ＶＲ（バーチャルリアリティ）による美浜発電所の紹介など、原子力発電のしくみをわかりやすく体験できます。

●所　在　地　三方郡美浜町丹生
●電　　話　0770-39-1210
●開館時間　9:00～17:00
●休　館　日　月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)
年末年始（12/29～1/3）

エルガイアおおい

バーチャル映像シアターと宇宙発電所アトラクションでエネルギーと地球の未来を考える体験型施設です。

エネルギーや宇宙について楽しく学習できる宇宙発電所アトラクション。
（コスモユニット・エネルガイア）

バーチャル見学ツアーでは、迫力あるＶＲ体験を交え、普段は入ることができない原子力発電所の中を巡ります。

●所　在　地　大飯郡おおい町成海字１号２番
（「うみんぴあ大飯」地区内）
●電　　話　0770-77-2144
●開館時間　9:00～17:00
●休　館　日　月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)
年末年始（12/29～1/3）

若狭たかはまエルどらんど

エネルギーを学ぶ体験型サイエンスパーク。「トロピカルワンダー」では、子どもから大人まで楽しめる空中アスレチックなどスリル満点のさまざまなアクティビティを体験できます。

自然科学やエネルギーについて、遊びながら学べるアトラクションが満載です。
（サイエンスワンダー）

熱帯雨林を再現した全天候型の大温室の中で様々なアクティビティをお楽しみいただけます。
※空中アスレチックは有料
（トロピカルワンダー）

●所　在　地　大飯郡高浜町青戸4-1
●電　　話　0770-72-5890
●開館時間　9:30～17:00
（空中アスレチックは10:00～17:00）
●休　館　日　月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)
年末年始（12/29～1/3）

～皆さまのご来館をお待ちしております～

関西電力 power with heart
まごころと熱意を込めたサービスで、
お客さまや社会の『力』になりたい。

関西電力原子力事業本部　検索

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.
全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

02.
組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.
海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。

人を思う。未来を思う。

商工中金

福井支店 0776(23)2090
〒910-0005 福井市大手3-14-9
https://www.shokochukin.co.jp/

新型コロナウイルス感染症に関する
商工中金の対応について

商工中金は、「新型コロナウイルス感染症に関する特別相談窓口」を開設し、影響を受けた中小企業の皆さまの資金繰り相談等に対応しております。
詳細はホームページをご確認下さい。